



コンパス住吉台

Tel:中学校090-9148-1396 Tel:小学校070-1287-8026

住吉台中学校区
学校支援地域本部だより
2020年度版
NO.3
令和2年11月26日発行



小中合同防災訓練



10月19日(月)、住吉台中学校を会場に、中学校全学年と小学校6年生が参加した合同防災訓練が行われました。小中学生は全部で6グループ(小6は中1.2学年と一緒に)に分かれて、①校庭での仮設トイレ設置、②AED操作、③体育館での避難所体験と避難所体操を2グループずつ30分ごとのローテーションで訓練しました。

仮設トイレ設置は、訓練が時間内に終わるよう地域の方々が事前準備をしてくださいました。そのおかげでスムーズに組み立てることができました。参加者の多くが興味津々だった段ボールベッドは中学生が5名くらい座ってもびくともせず、とても丈夫なことが分かりました。避難所では他にもプライベート用のテントや、様々な仕切ることができるパーティションも体験しました。

今年度はコロナ禍のため規模を縮小しての実施となりましたが、行政・消防・地域の方々のご協力のもと貴重な体験をすることができたと思います。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。



小学校



★ 5年生 米作り ★

9月23日に萱場の奥山壽さんのご指導の下、釜と黒曜石を使つての稲刈りを行いました。10月21日には、奥山照夫さんにもご協力いただき、足踏み式脱穀機でもみを外した後、ふるいでわらともみをわけました。どちらの体験も児童に『一粒のお米』の大切さを実感させる学習となりました。もみは10キロ弱。萱場の鈴木孝之さんに精米をお願いしたところ6.65キロのもち米になりました。



★ 5年生 防災授業 ★

10月19日、仙台市地域防災リーダーの伊藤啓子さんに『防災力を試すクイズ』『避難所に持っていくリュックの中身』『災害時に役立つ身近なもの』等についてお話しいただきました。

ビニール袋でご飯を炊くことやカレーが作れること、スマホライトの有効活用や、ラップやスーパーの袋がケガをしたときに役立つこと、牛乳パックがメッセージボードになることなど、5年生は次々にリュックから出てくる身近なものの活用の仕方に目を輝かせていました。



★ 5・6年生 ミシンボランティア ★



10月19日から2週間、5・6年生のミシン授業が行われました。例年は家庭科室だけで行いますが、今年度は密を避け、理科室と少人数教室も利用し3か所で行いました。

5年生は初めてのミシン、ドキドキしながらもボランティアさんのアドバイスでトートバックを縫いあげました。6年生はエプロンを作成。23名、のべ84名のボランティアさんのおかげで素敵な作品ができあがりました。



★ 6年生 内藤以貫 ★

10月28日、『内藤以貫の墓保存会』の皆様をお招きして、東5丁目公園から入ったところにある内藤以貫のお墓についてと、内藤以貫について学びました。今年度は、密を避けてオープンスペースでの授業となりました。

伊達藩2代・3代・4代藩主に使えた儒学者であり書家でもあった以貫。大崎八幡宮の『二之鳥居』の石の鳥居は、4代藩主綱村公が寄進したもので以貫の碑文が刻まれています。また、保存会の方は以貫の墓の風化を防ぐためにお墓に屋根をかけるための募金活動もされています。コロナ禍、地元の史跡を訪ねてみませんか。



★ 3年生 オオムラサキの授業 ★



10月30日、今年度3年生は初めて『オオムラサキの舞うふる里を育てる会』の皆様とお会いしました。

今まで学年で観察したり、調べただけではわからなかったことを質問したり、幼虫が越冬しやすいようにエノキの根元に枯葉を入れました。葉の色に合わせて色の変わりだした幼虫を熱心に観察し、会の皆様の説明を受けたり、質問をしたり3年生はオオムラサキについての知識を深めていました。